

技術者からの声

当日参加した皆さんから出された意見・提案の概要です。

週休二日について

* 週休二日制では、適正工期が課題になる。当初の設計内容であるならぎりぎり可能であるが、設計変更で工期の延長が必要な時、開通期限が切られておることで、当初工期の厳守指示があり、工期をとるか週休二日制をとるかの選択で工期厳守を採用せざるを得ないこととなったため週休二日が達成できなかった

* 工期はしっかり見てもらっているが、見積もり段階で職人の日給月給への対応で拒否反応、割増の示唆で高めの積算での契約となる。

* 重機の稼働率について業者は土曜日ありきでの積算であり、稼働率の低下が問題となる

* 工期は余裕があるが、雨天時の作業で遅延した場合に土日休業となるとフォローができなくなる問題がある

* 杭では、圧接等で天候に左右されない機械式になれば工期の面からもまた生産性向上にもつながると思う

* 職人の日給月給で週休二日制だと土曜日に仕事ができないので割高になることも問題である

* 生コン打設ではデータ処理を翌日行う必要があるので土日休業となると祝日はさんだりすると1週間工程が遅れることもある。

局 工期で準備と後片付けはきちんと見る、担当者の感覚で決めていた部分もあったので、今年度から工期はシステム化し画一的に決める

局 未定部分が曖昧のまま発注ということがあったようですから、未定の部分は特記書で必ず記載することとし、互いに見直しをかけ情報を共有し管理していきたい。

局 割高の日給は、下へは支払われているのか聞きたいが←見積もりで積算しているので支払われている

局 日給月給は週休二日で調査して基準を作っているがなお合わない部分があるということは必要額が欠落し部分があるのかとも思うので課題としていきたい

局 経費については、現場管理費と共通仮設費の割増しは今年度から算定することとなっている

局 少しは言われたことへのフォローとなるとおもう

局 機械式への変更は数か所の現場で試行し順次進めていくので、機械式の必要であると思われるときは提案をしてもらいたいし、設計で見ていく

* 週休二日相当で受注後工期設定の詳細等を教示願えると聞いているが

局 受注前仕様書に明記し、現場が動けない期間があるならそれらを踏まえて現場での行程表作成していただくときに反映していくが、不測の場合は双方で共有して解決していくこととなる

* 年中無休の現場であるが、社員は交代を含めて週休二日を実行しているので順調に休めることで私生活面でも評価できるが、今後は下請け等へもすそ野を広げる政策の普及が必要

- * 近隣等からの苦情で作業の土日指定等特別な事情がある場合は特例と認められるのか
- 局 完全週休二日は、基本は土日であるが、計画的に定休日を設定してもらえばよく、天候による休工はカウントしない。また週休二日相当では、土日関係なく、全体工期の七分の二以上を休みとすれば、どのように定休日を設定してもよいのでハードルは高くないと思う
- * オブザーバーの県への質問が出た。週休二日の基準は国に準じて今後進めていただけるのか
- 県 29年度から完全週休二日制を発注者指定で実施していきたい。私生活の面から考えると、ご意見でもあった社会的ニーズとしては相当より完全週休が多いと思う。土日絶対でなく土曜作業の時は前日後日の代休、日曜は後日の代休でもよい。
- 県 経費の割り増しは、現在はあくまで試行の段階であるが、検証の結果有用なものとなれば県としても本格実施に移行していく考えはある
- 県 完全と相当のどちらが現場はやりやすいのかお聞きしたい
- * 現場は相当しかできないと思うが、新規採用に向けては完全週休を実施するでないと集まらない、実施していますでは人は集まらない
- * 完全週休二日でないと割り切って休めないし予定が立てられないので、若い子は完全週休二日の現場へ行きたがるし、継続できるねとの意見が多いので完全二日制で割り切って発注してもらったほうが良いのではないか

女性技術者の働きやすい現場の実情

- * 3年目の現場であるが、女性の監督者が初めてという男性が多く、良い面悪い面での互いの気負い（女性の言うことが聞けるか等）があるが、女性の進出が進み、現場に女性が当たり前になっていけば感覚的に慣れていくことになるのでは
- * 新規採用での外向けには、トイレとかの環境面も大切であるし、週休二日制のアピールも重要である。女性が働きやすければ男性も働きやすいと思う
- * 男性からの目に見えた抵抗はないが、女性との接触に戸惑う人も多いので困らせていると思うこともある。作業員の間では女性が最近増えているとは聞く
- * 愛知国道事務所の建設小町のグループで議論すると、真っ先に出るのがトイレの改善問題です。
- * 女性の体力や力のないことを補うため、アイコンを女性が先行して身に着けることで現場での活躍の道を見出すことが良いとの意見がある
- * 女性の意見は聞かないとまず言われたことからスタートしたが、コミュニケーションをとりながら接していったので今では話ができるようになったことから、女性だからではなくコミュニケーションが取れば信頼関係が築けていける
- * 力仕事についても信頼関係の構築で、できることできないことが言える環境をこちらから作っていくことも必要
- * 男性も女性も仕事のやり方としては変わらないと思うが、今は女性が少ないから女性の意見とか女性の技術者とか言われるのであるが、これから女性の進出が進めば特別扱いではないがそのようなことはなくなる
- * 女性の部下がいるが、日焼けとかを気にしている。トイレはウォシュレットにしたが、かえって若い男性の職人が喜んでいる

* 単管とかの重いものが持てないという悩みがある、出来る、出来ないを言えればよいが、新入社員ではなかなか伝えられないので、言える環境づくりは必要である。このような機会に聞けるといいなおもう。

局 今の話で、アイコンは、女性にとって新たな活躍の場となる。特に3次元データを扱うことになると専門性とか高い技術力を持ってくるし、現場作業が省人化されるという観点から現場作業がなくなる。そうすると現場技術者の現場環境もよくなっていくと思う。

局 先日初めて女性技術者がICTアドバイザーに登録されたが、もっぱら3次元データを扱う作業で複数の現場を担当し、各データを集約する作業で現場と分業した作業を行っているという話を聞いたとき、まさに適材適所でありこのような展開もありと思う

* 女性だから力仕事に向かない部分もあるが、そんな場面は少ないと思うし、やはりコミュニケーションをうまくとりながらやることが大切

若手技術者（中堅）から見た目

* 入社時は際限なく仕事してきたが、休みは貪欲に休みたいので、今の会社の環境は休みがとりやすいので良い。

* 一般の土木業界を見る目が、相変わらず税金の無駄遣いとみているので、何から何まで文句をつけられる感がある。一般の方の見方、イメージが、今少し良くなれないかと強く感じる

* 入社時は青天井残業であったがここ数年で会社も発注者も理解ができてきたし、書類は簡素化されて減ったとは聞いているし実感もある。

* 土木の工事は大変ではあるが、目に見えるものが作れるし遣り甲斐はあり達成感はある

* 書類の簡素化について、提出書類は確かに減ってきているが、作成する量に関してはそこまで減っているとは感じない。提出は確かに減ってはいるけど労力はさほど変わらない感がある

* 若手が入ってきていないのでこの状況が続くのかとも危惧している。

* 今は毎週週休二日で確実に休めるので家庭家族との時間が充実しているので、今後は完全週休二日制で発注していただくと助かる。

* 週休二日を実施できるためにも、発注図でそのまま仕事ができることがほぼないし、特記に記載されたいつまでに修正設計が出来上がるという期限が3か月遅れは平気ということや8月頃が2か月前倒しでとかが普通にあるので、しっかりしたもので出していただけたらと思う

* 平準化でどんどん仕事を出していただくことにも力を注いでいただけると有難い

* モノ作りが好きでこの業界に入ってきているので、達成感を味わう時があるが、今の若手がどのようなときに達成感が味わえるかを考えると、現場の週休二日制など体の負担をなくすこともあろうと思うし、現場を好きになってもらえる魅力を伝えられるとよい

* 監督業の教示はできるが、例えば粉塵防除で散水車使うときは中型免許がいる、保安材を運搬するときクレーンで玉掛の免許がいるときは、若手が身で覚えることができないので免許を持つ中堅がやらざるを得なくなるのが現状。この機会に若手への魅力をいかに伝えるかを意見交換できるとよい。

* 隔週で職員が交代で休みを取れるよう、監理技術者と現場代理人が交代して若い現場担当者と連絡して隔週休めるように工夫したりしている。今年から働き方改革でスマートフォン使用した写

真管理ソフト、積算ソフトを活用した行程表の作成などのシステムを活用して残業を減らす努力をしている。

* 若い技術者育成で時間がかかるがある程度のところまでやらせる方法もあるが、手伝って早く帰れる時間を作ったほうが良いのかこれから考えていきたい

* 護岸工事でアイコンでの丁張作業の経験を実感するが、初めてなので測量精度も気になり通常の監理も行ったが一度やれば今後の作業に活用できると思う

* 工業高校卒の新卒が配属され、技術的面の指導もあるが、それ以前の社会人として教える面も現場としては負担があると思う

* 長い目で教育することも必要であるが現場の年長者だとそのあたりも教育に抵抗があるようでその中間で中堅の我々がいるのではと思うが、これから若手が入ってきても、面倒見て教育していける工事が今後も発注されるのか不安に思っている。

* 土曜日の休みは我々の年代ではなかったが、今土曜日が休めるということは、翌日も休みと思うと土曜日のほうがかえって気が休まる。2連休というのが大きいと思う

* 土曜日出ると手当が出るので、土曜日全部休むと給料の手取りが減ることもあり新入社員にとってもよいか悪いかあるので完全週休となるとバランスがいる。給料の基本給が国全体で上がればよいが会社で相違が出ると抵抗感が出る

* アイコンも規模の大きな現場であれば活用も実感があるが、現場の規模や、地下作業等の現場状況で果たしてうまく活用できるのかということが課題になっているのか、また克服できるかが問題である

局 書類の簡素化で実感がないという話を聞いて、土日休んでも平日残業であれば意味がないので今話を聞いて書類の簡素化は我々としては取り組んでいるが実感があるのか心配している。現状はどのようなのでしょうか。

その他の問題点

* 書類の簡素化のなかで、実際には書類が減っていないのが現状です。電子化にはなるが、作成してスキャナーで読むことも、厳しいところだと紙に赤でラインをつけさらにスキャナーで読むなど2度手間、3度手間がかかる。その結果書類は減らないのが現状です

* 検査はCDで持っていく書類は軽くなるが、検査で聞かれるので結局書類を準備して持つていくことになる。事務所で確認してもらって、検査の時は不要となるのであれば少しは減るのでは

* やはり電子化でスキャンしてまたスキャンしてなので手間は変わらない

* 紙の時は作成して持つていくことになりその作業はないが、書類作成の手間は一緒である。

* 残業は、仕事の処理に個人差があるのでなくすためには、個々の能力でここまで決めて帰らないと減らないと思う

* 社内検査も担当しており、品確品証で立ち会っている。提出書類は確かに減っているが作成している書類は変わっていないのが現状。最近では安全の書類が非常に多くなっている。これは当然必要であるが。

* 一つの事案で補助資料がどれだけいるのか。発注図面でできない、推進会議に持ち込むまでにどれだけ書類がいるのか。現場にかかる前にどれだけ量を作っているか、この改善が必要。

* 特記書に書かれる理由の裏付け資料が必要、発注者の責務でまとめてこちらに降りてくるのが半分は業者が行う。このあたりが軽減されることが必要。

* 現場に入ってえ！済んでないのという時がたまにある

* 地元の有力者の意向で左右されることもある。以前はお前ら図面なんて漫画だといわれた時代もあったが、その点は随分と改善されてきて、業者を大事にされていると思う

* 年度発注している長期のプロジェクト事業で、コンサルの業者が変わるまた他社の図面を渡されそこまでやれというも結構ある。

* 国交省では多くの人が投入され、書類も多いが綿密な計算がされ忙しいながらもきちっとしたものができると、そこそこの現場になると工期が長くなれば普通だと1.5かかるが緩い現場であれば減らしてもいいのではとの方向に走ることがあり週休二日の意味が問われる

* 良い現場、良い環境であれば、そこそこに人は入ってくるのでそうなるよう希望を持っていきたい

局 良品をもらうのが目的であるのかかかった費用は払う、工期は見るが基本ととらえている。設計変更の費用や工期が見てもらえないという話をきくが特別な事情で工期の終期が決まっている場合は別ですが。変更協議で見てもらっているのか経験ではなくてもよそから聞いた話でもあれば聞かせてほしい

身近で感じたこと

* 昔と比べれば変更は見てもらえているとは思いますが、他で見てないからここでは見られないとかは言われ結局こちら持ちとなるとか、特記には協議して費用は見ると書かれているが実際には皆さん承諾でやっているよとか誘導されて結局こちら持ちとなるのが現実である

* 横並びでやっているの、これも横並びでやる。金額等の大きなものは見てもらっている

* 協議は受け取ってもらいやすくなっているが、認めてもらえるかどうかとか協議を強要されることが結構ある。

* 本来ならば指示事項を協議だよと言われ、こちらが照査で上げた事項に対して設計照査を渡すからそちらで確認しろとかの無理やり押し付けられる部分があつて困った。

* 内部で変わって、今は人も変わってよくなっているが、最初は大変困った

* 特記上で8月には乗り込めるとあったが実際は1月であつてその間一時休止がほしいと申し込んだが実際は相当時期がすぎて2か月間しかももらえなかったうえにその間の経費が見てもらえなかった

* 今まで見てもらえなかった足場を見てもらえることもあった

* 承諾にしても横並びでこころはみんな承諾で見ていると言われ、こちらからはなぜということがある

* 昔に比べて変更はすごく見ってもらえるようになってはいると感じるが、発注者から細かいことだがこれ、あれやると頼まれることがある。小さなことも積もれば山となっている。

* 他の工事では頼めないのやってくれないかと言われてやったが、変更は見られないと言われたこともある・・全体的には昔に比べれば見てもらえるのかなとは感じる

- * 変更ですが、書面に残っているものは見てもらえるが口頭で書面に残っていないものは見てもらえないが現状である。
 - * 整備工事である区間の調査してくれと言われ、結果報告を出すには費用が掛かるが見られますかと聞いたが指示が紙で残っていないので見てもらえなかったこともあった
 - * 変更資料でもコンサルからの図面で指示簿が上がってくるが、実際できるか否かを指示の前にこちらが照査して図面を作り直して提出することがあるが、検査の時に照査は何回と言われても書面には1回しか残っていないので実際には何回行っても1回と答えることになる。
 - * 指示前の照査の費用は、指示簿では指示1回となっているだけですので見てもらえない
 - * 工期延長にしても関係官庁の協議が遅くなり担当者は年度跨いでの延期をするよと言われたが、1週間後に副所長にダメと言われたから無理と言われこれでやってと言われ慌てて資料を作り直したこともある
 - * 工期延長にしても変更にしてもダメなものなぜなのかの正確な理由が知りたいこともある
 - * 発注段階での設計照査でいくつか質問を出して回答が指示でくると思いきや時間がたつたので協議で出してと改めて言われたことも数回あったが、協議はしやすくはなっている
 - * H 鋼杭が入らなくて図面と違うところで地中障害があったということで変更協議していると、金額の見積もり徴収を言われたので見積もりで協議したが、金額が少し高いね（こちらでは高いかは事情を知らないのだからわからない）と言われたが項目の説明はするが、単価をいじる話をされても業者が出したものですから、こちらでは何ともできず負担することになった。
 - * 変更で協議として打ち合わせ簿を出すのですが、受け手の感じですが嫌がられるというか少額で出してほしいと言われるなど、金額変更を打ち合わせ簿で協議すると抵抗される感があります。
 - * 担当者によって変更が変わってくることもある。設計変更を上にあげてもらえるかどうか担当者次第ということがある。
 - * 鉄筋架代について前は承諾であったが、最近では設計に組み込むか変更で協議するようになって見てくれることは事務所自体が皆の意見を集約してくれると思う
 - * 工期でも、きちんと見ていることもあるが、現場サイドの書類の作り方もあると思うが、同じ条件で同じことを出しても、見てくれないことも見てくれることもあるように担当者によっても大きな違いがある。
 - * よそでこういう書類が出てきたからこれで出したらというようなことが感じられるので、技術者の横の連絡・情報収集の問題かもしれない
 - * 発注者に有利な変更協議は即見てもらえる。受注者協議は金がかかるので、たいてい見るよ、見たよと言われ、受注率かけて出てくるが、小さなものはこれだけ必要が理解してもらえない。
- 局 まだ聞きたいこともあるが、時間ですね
- 進 懇親会でお願いします。10分休憩します